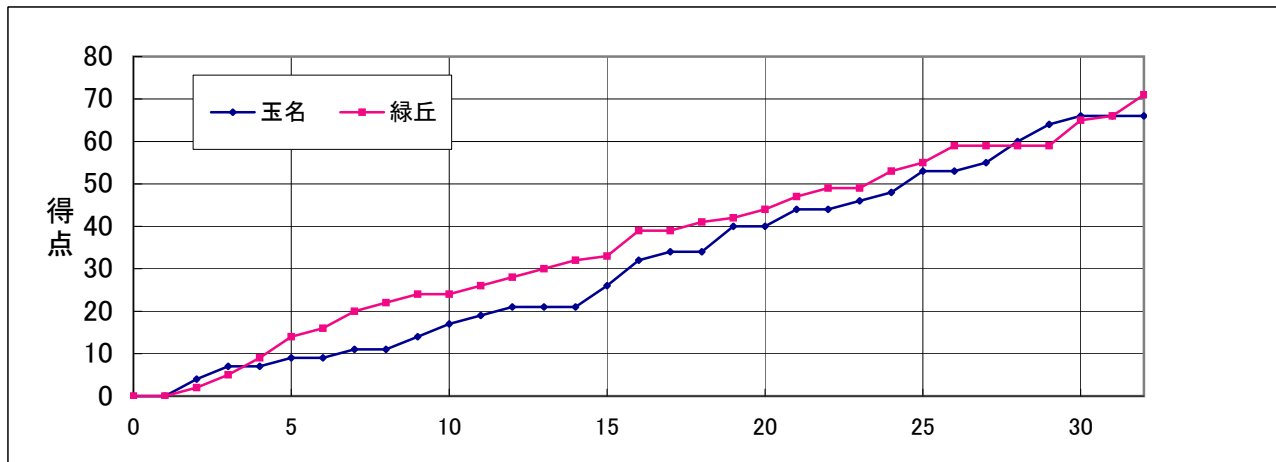


大会名	平成21年度 第30回全九州中学生 バスケットボール春季選手権大会	B1	9:30	男子1回戦															
		玉名 66 (熊本1位) ●	<table border="1"> <tr><td>11</td><td>—</td><td>22</td></tr> <tr><td>21</td><td>—</td><td>17</td></tr> <tr><td>16</td><td>—</td><td>14</td></tr> <tr><td>18</td><td>—</td><td>18</td></tr> <tr><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table>	11	—	22	21	—	17	16	—	14	18	—	18	—	—	—	71 緑丘 ○ (鹿児島2位)
				11	—	22													
21	—	17																	
16	—	14																	
18	—	18																	
—	—	—																	
期日	2010年(平成22年)3月13日(土)																		
会場	大分県立総合体育館																		

主審 甲斐 誠 副審 姫野 和希



1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
04:27 13:44	21:45 25:50 30:47	—	—

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 岩松 永太郎 (C)	24	2	6	6	4
5	* 吉田 和弘	24	5	4	1	3
6	久木田 雄哉	2	0	1	0	2
7	西田 拓未	2	0	1	0	2
8	* 浦島 秀人	8	2	1	0	3
9	肥後橋 銀次郎	—	—	—	—	—
10	* 友永 拓海	2	0	1	0	5
11	村上 雅人	—	—	—	—	—
12	福島 汰成	—	—	—	—	—
13	松尾 巧	—	—	—	—	—
14	* 村上 雄大	4	0	2	0	5
15	井手 智善	—	—	—	—	—
16	宮本 浩幸	—	—	—	—	—
17	井上 敬志	—	—	—	—	—
18	早野 謙二郎	—	—	—	—	—
コーチ	杉本 三郎	—	—	—	—	—
合計		66	9	16	7	24

1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
10:49	— 27:09 29:16	—	—

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 西田 貴星 (C)	20	0	6	8	3
5	* 西村 拓朗	19	0	6	7	4
6	* 竹ノ下 大樹	6	0	1	4	0
7	川畑 大和	—	—	—	—	—
8	* 河野 秀昭	10	0	4	2	2
9	義山 龍希	—	—	—	—	—
10	* 佐多大輝	16	3	3	1	2
11	加藤 快	—	—	—	—	—
12	和田 大樹	—	—	—	—	—
13	福崎 崇裕	—	—	—	—	—
14	小原 朔也	—	—	—	—	—
15	羽根田 樹	—	—	—	—	—
16	佐保 綾哉	—	—	—	—	—
17	福森 陽平	—	—	—	—	—
18	石川 真聖	—	—	—	—	—
コーチ	米澤 保志	—	—	—	—	—
合計		71	3	20	22	11

\*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

## 戦評

大分大会のオープニングゲームとなった玉名中(熊本)対緑丘中(鹿児島)。玉名はオールコートマンツーマン、緑丘はハーフコートマンツーマンでスタート。お互い緊張のため、なかなか得点が入らず。玉名はオールコートマンツーマンでリズムをつかもうとする。対する緑丘はフリースローで点数を重ねる。玉名#4岩松が二つ目のファウルのため、ベンチへ。直後、緑丘は3Pで点数を決め7-12となり、残り3分で玉名はタイムアウトをとる。玉名は、ファウルが重み緑丘にフリースローを与える。玉名は、3Pで反撃を試みるが決まらず。11-22緑丘リードで終了。

第2Q序盤、玉名はインサイドにボールを集めディフェンスを小さくし、3Pで反撃開始。玉名のオールコートディフェンスで緑丘にミスが重なり、残り5分で緑丘はたまたらずタイムアウトをとる。得点は19-26。タイムアウト後、一進一退の攻防が続き、どちらもゲームの流れをつかめない。緑丘は、#4西田を中心に攻め、流れをつかもうとする。玉名#4岩松連続ポイントで、点数を重ねる。前半は、32-39緑丘リードで終わる。

後半たちあがり、両者チームディフェンスは変わらず。両チームとも激しいディフェンス、ルーズボールで流れをつかもうとする。玉名#5吉田連続3Pで、40-44の4点差につめよる。その後も両チーム流れをつかめず、48-53の緑丘リードで第3Q終了。

第4Qたちあがり、緑丘は#4西田を中心に攻めを組み立てる。対する玉名はペースをあげ、はやい展開にもちこむ。玉名は#4岩松のフリースローで逆転し、残り3分で60-59と、初めてリードを奪う。残り3分きつたところで、緑丘タイムアウト。緑丘#4西田が積極的な攻めでファウルをもらい、残り1分で同点。残り12秒、緑丘#10佐多がバスケットカウントで1スローを決め3点差を広げる。残り1秒、緑丘#4西田のフリースローで66-71となり、緑丘が大接戦の末、勝利をおさめる。

| 記載者 | 野田、卯野 (所属) 大分県バスケットボール協会